

6 速 DSG (0D9 – DQ250 MQB) の基本調整

【重要】以下の内容は、まだ Ross-Tech によって公式に認められたものではありません
下記手続き以外に、実施しなければならない項目が今後出てくるかもしれません

RossTech および SecondWind は以下の操作の結果起こるいかなる不具合・故障に関して責任をとりません。必ず自己責任の元で行ってください。ディーラーのリペアマニュアルを参照することを強くお奨めします。

6 速 DSG (0D9) の基本調整

DSG の基本調整を実施する際は以下の点を確認してください。

・ATF 温度は 30～100℃

Advanced Measuring Values で確認します

** IDE00102 Control Module temperature (コントロールモジュール温度)

** IDE00024 Transmission fluid temperature (ATF 温度)

・セレクターレバーは「P」ポジション

・エンジン ON (アイドリング回転数を保つ)

・パーキングブレーキとフットブレーキは一連の手続きが終了するまでかけ続ける

・スロットルペダルは動かさない

[Select]→[02 – Auto Trans]→[Basic Settings - 04]

[Basic settings of transmission] を選択する

[Show Measuring Data] から次ののデータを選択する

* IDE00021 Engine speed (エンジン回転数)

* IDE00322 Status of basic setting (ベーシックセッティングの状態)

* IDE00024 Transmission fluid temperature (ATF 温度)

[Go!]

※ベーシックセッティングが行われている間、トランスミッションから変速音がしますが、これは正常です

※ベーシックセッティングは以下の理由で正常に終了しないことがあります

ATF 温度が高くなりすぎた

ブレーキを途中で緩めた

エンジン回転数が上昇した

ベーシックセッティングが正常に終了すると、[Status of Basic Settings] と Basic Settings 画面に「Finished Correctly (正常に終了しました)」のメッセージが表示されます

[Done, Go Back]

[Fault Codes – 02]→フォルトコードをチェックする

※もし、この操作の結果新たに保存された「フォルトコード」がある場合は、消去する前に[Save](保存)して、「AutoScan」、
「Adaptation Channel Map」と合わせてセカンドウインドまで送ってください

[Close Controller, Go Back – 06]

※上記 IDE ナンバーは VCDS のデータバージョンにより、変わることがありますが、「テキスト」自体は変わりません